

# ご 挨拶

第3回瘢痕・ケロイド治療研究会  
会長 平野 明喜

(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 形成外科学 教授)

このたび第3回瘢痕・ケロイド治療研究会を、長崎大学医学部形成外科学講座が担当させていただきますことを大変光栄に存じます。昨今、学会や研究会の増加により参加者の負担が大きくなっていることを考慮し、第10回日本褥瘡学会に引き続き同会場で開催させていただきますことを森口隆彦会長にお願い致しましたところ、快くお許しをいただき、今回初めて関東地区以外で開催することとなりました。この場をお借りして、森口隆彦先生には改めて感謝を申し述べさせていただきます。

そもそも長崎大学医学部形成外科学講座は、創設者の難波雄哉先生が原爆による皮膚潰瘍と瘢痕拘縮の治療を手がけられたことから始まりました。これらは一般には放射能と原爆ケロイドとして語り継がれていますが、半世紀以上経過した今日、ケロイド治療に放射線のひとつである電子線を利用し、これを討議する場を担当させていただきますことに何かしら因縁めいたものを感じております。

2日間のプログラムでは、3名の外国人特別講演を企画致しました。Asan Medical Center 形成外科の Joon Pio Hong 先生には「ヒト組換え型増殖因子を用いた瘢痕軽減について」お話をいただき、サイトリ・セラピューティクス社の President であり脂肪幹細胞研究で高名な Marc Hedrick 先生には「形成外科での細胞療法の活用について」ご講演いただき、イタリアのピサ大学皮膚科の Marco Romanelli 先生には「瘢痕の評価について」のご講演をお願いしております。また、パネルディスカッションとして、ケロイド分類（評価）の点数化の試みと題して、3名の先生方にご提案を披露していただき、多彩な臨床像を示すケロイドの客観的評価への足がかりにしたいと思っております。

その他一般演題として16演題ものご応募を頂いており、昨年までと同様に活発な御討議をお願いしたいと思います。

神戸国際会議場は海岸沿いの立地とはいえ、まだまだ残暑が厳しいことが予想されますが、皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

2008年7月吉日

# 参加者へのお知らせとお願い

## 1. 研究会参加について

- 1) 受付：2008年8月30日（土）16:30より開始  
8月31日（日）8:00より開始

会場：神戸国際会議場 504・505号室（5F会議室）  
〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1  
TEL: 078-302-5200 / FAX: 078-302-6485  
<http://kobe-cc.jp/>

- 2) 参加費：3,000円

事前参加登録はございません。当日、受付に備えられている参加章に必要事項をご記入の上、参加費3,000円を受付にてお支払ください。引き換えに参加章をお渡しします。参加章には所属・氏名を記入の上、会場内では必ずご着用ください。参加章を付けていない方のご入場は堅くお断りいたします。

- 3) 抄録集：

第3回癩痕・ケロイド治療研究会抄録集（本冊子）は、会場へ持参下さい。  
（当日受付にて1,000円で販売します）

- 4) クローク：

学会場にはクロークを準備しておりませんので、ご了承ください。

- 5) 駐車場：

駐車場は研究会用には準備できません。各自でお願いします。  
会場周辺にありますのでご利用ください。

- 6) 呼び出し：

呼び出しは行いません。携帯電話は電源を切るか、マナーモードにしてください。

- 7) 会場内は公共施設のため全て禁煙です。

また、許可なく会場内の飲食（イブニングセミナー及びランチョンセミナー指定場所は可）が禁止されています。ご協力お願いします。

- 8) 個人情報保護・著作権等の関係で許可なく会場内の撮影や録音はご遠慮ください。

## 2. 演者の方へ

### 1) 発表時間：

8月31日(日) 一般演題 : 発表5分・質疑応答3分  
パネルディスカッション : 発表8分・討論36分

### 2) 発表形式：

発表はPowerpointによるPCプレゼンテーションのみの発表です。  
スライド映写はご使用いただけません。

### 3) 演者の方は、必ずPC受付をお願いします。発表時間の30分前にはスライドチェックを終了してください。また、講演の5分前には次演者席にご着席ください。

### 4) 発表方法：

- (1) すべてPCプレゼンテーションに限定します。
- (2) 会場は液晶プロジェクター1台(一面映写)です。
- (3) 発表データがWindows XP: Power Point2003で作成の場合はUSBメモリーで結構です。バックアップとしてのCD-Rのご用意もお勧めします。
- (4) 口演時間の1時間前までに(早朝のセッションは30分前)、PC受付を終了してください。PC受付にはスタッフも待機していますが、受付時の修正と動作の確認は各自の責任でお願いします。
- (5) Windows XP: Power Point2003のPCを用意しています。Power Point2007及びWindows Vistaで作成したPower Pointの場合は、ご自身のPCをお持込下さい。
- (6) 動画を使用の場合も、ご自身のPC本体を持込下さい。
- (7) 発表データ作成時のフォントは標準フォント(MSゴシック、MSゴシック、MSP明朝、MS明朝書体など)をご使用下さい。特殊なフォントは文字化けすることがあります。
- (8) 必ず事前にご自身でウィルスチェックを行ってください。
- (9) データは作成したPC以外のPCで画面等を確認してからお持ち下さい。  
(これにより(5)の確認も出来ます)
- (10) 発表の際は演題に設置しています操作用キーパットを使って、演者ご本人の操作をお願いします。
- (11) 受付時コピーしましたデータは学会終了後、主催者側で責任をもって消去します。

■ 発表者は「癬痕・ケロイド治療研究会会員」に限ります。非会員の方で発表を希望される方は事前に入会手続きをお願いします。

入会申込先：癬痕・ケロイド治療研究会事務局  
〒113-8602 東京都文京区千駄木 1-1-5  
日本医科大学形成外科内  
形成外科・美容外科講師 小川 令  
形成外科・美容外科助手 赤石 諭史（事務局長）  
Tel: 03-5814-6208 / Fax: 03-5685-3076  
事務局（ info@scar-keloid.com ）  
<http://www.scar-keloid.com/guidance.html>

年 会 費：3,000円

### 3. 司会・座長の方へ

担当されるセッションの15分前までに、各会場前で受付をし次座長席にご着席ください。  
演者の欠席が出た場合は、発表を繰り上げて進行をお願いします。  
時間厳守で進行をお願い致します。

事務局：第3回癬痕・ケロイド治療研究会  
秋田 定伯  
〒852-8501 長崎市坂本1丁目7-1  
長崎大学医学部 形成外科学  
TEL：095-819-7327 / FAX：095-819-7330  
E-mail：[akitas@hf.rim.or.jp](mailto:akitas@hf.rim.or.jp)  
[http://www.scar-keloid.com/annual\\_meeting3.html](http://www.scar-keloid.com/annual_meeting3.html)

## 癩痕・ケロイド治療研究会で学術発表される皆様へ

個人情報保護法の施行により、学会・研究会において発表される症例報告は、医学研究において医学・医療の進歩に貢献する極めて重要なものと捉えられておりますが、特定の患者の疾患や治療内容に関する情報が含まれていることが多いので、そのプライバシー保護に配慮し、患者が特定されないよう留意する必要があります。

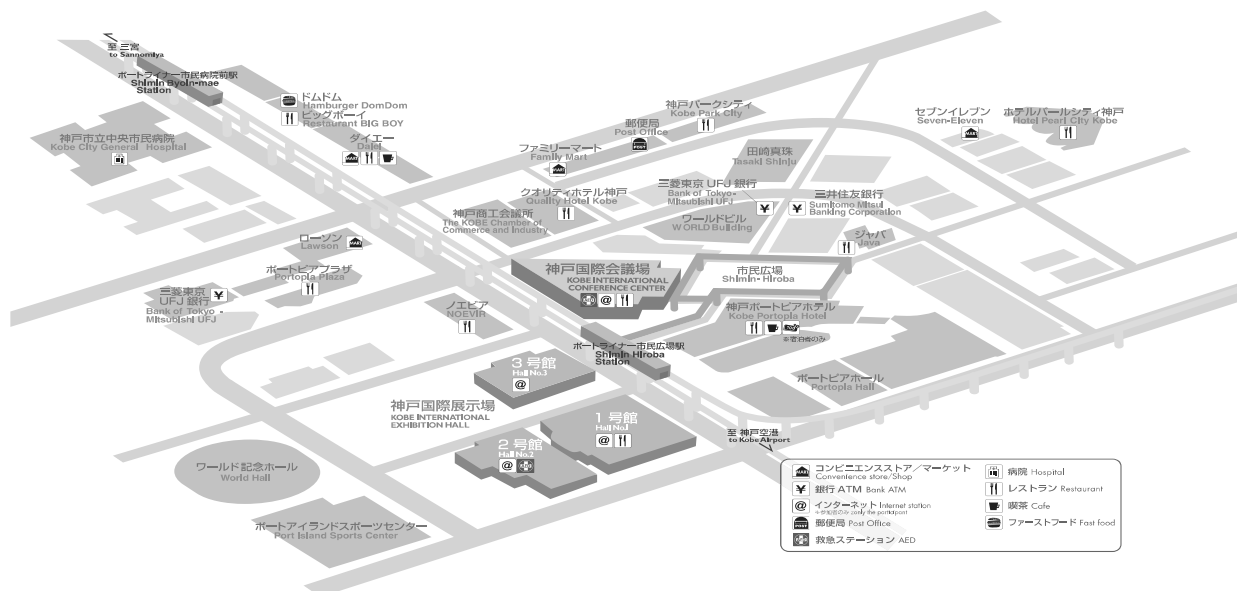
癩痕・ケロイド治療研究会において症例報告などの学術発表をされる予定の会員の皆様におかれましては、以下の点に留意してご発表の準備をお願い申し上げます。

- 1) 患者個人の特定可能な氏名、入院番号、イニシャルまたは「呼び名」は記載しない。
- 2) 患者の住所は記載しない。但し、疾患の発生場所が病態等に関与する場合は区域までに限定して記載することを可とする。(東京都、新宿区など)
- 3) 日付は、臨床経過を知る上で必要となることが多いので、個人が特定できないと判断される場合は年月までを記載してよい。
- 4) 他の情報と診療科名を照合することにより患者が特定され得る場合、診療科名は記載しない。
- 5) 既に他院などで診断・治療を受けている場合、その施設名ならびに所在地を記載しない。但し、救急医療などで搬送元の記載が不可欠の場合はこの限りではない。
- 6) 顔写真を提示する際には目を隠す。眼疾患の場合は、顔全体が分らないよう眼球のみの拡大写真とする。
- 7) 症例を特定できる生検、剖検、画像情報に含まれる番号などは削除する。
- 8) 以上の配慮をしても個人が特定化される可能性のある場合は、発表に関する同意を患者自身(または遺族か代理人、小児では保護者)から得るか、倫理委員会の承認を得る。
- 9) 遺伝性疾患やヒトゲノム・遺伝子解析を伴う症例報告では「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」(文部科学省、厚生労働省及び経済産業省)(平成13年3月29日)による規定を遵守する。

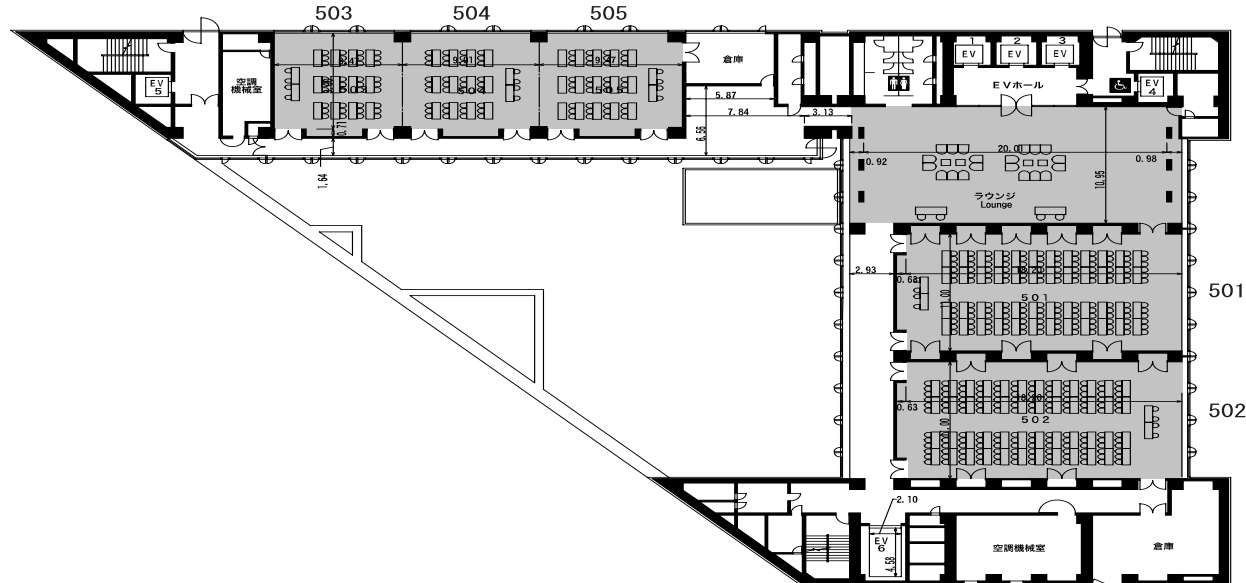
**《ACCESS》** 神戸国際会議場 〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1  
 TEL:078-302-5200/FAX:078-302-6485  
<http://kobe-cc.jp/>

- J R** : JR三ノ宮駅からポータライナー【市民広場駅下車】で10分  
           JR新神戸駅から地下鉄（三宮駅乗り換え）ポータライナーで30分  
**航空機** : 関西国際空港からリムジンバス（三宮乗り換え）ポータライナーで80分  
           大阪国際空港からリムジンバス（三宮乗り換え）ポータライナーで70分  
**車** : 大阪方面より→ 阪神高速3号線/生田川ICから約5分  
           大阪方面より→ 阪神高速5号線→ (住吉浜IC乗継)→ ハーバーハイウェイ/  
           ポータアイランド降り口から約3分  
           岡山・姫路方面より→ 阪神高速3号神戸線/京橋ICから約5分

## 会場周辺図



## 504・505号室 (5F会議室)



《 第3回癬痕・ケロイド治療研究会プログラム 》

8月30日（土）

【 展示場開場・受付開始 】 16:30 ～

【 開会の辞 】 17:45 ～ 17:50

会 長：長崎大学 形成外科 平野 明喜

【 外国人特別講演1 】 17:50 ～ 18:30

「The Use of Nepidermin(rh-EGF) against Scar Formation」

座 長：福岡大学 形成外科 大慈弥 裕之

演 者：Asian Medical Center, University Of Ulsan,  
Department of Plastic and Reconstructive Surgery

Joon Pio Hong …………… 11

8月31日(日)

【受付開始】 8:00 ~

【一般演題1】 8:30 ~ 9:10

座長：神戸大学 形成外科 寺師 浩人

1. シリコンジェルシートの力学的効果の検討  
日本医科大学 形成外科・美容外科 赤石 諭史 …………… 23
2. 皮膚に生じる張力と神経原性炎症の関連性について  
ハーバード大学ブリガムウィメンズ病院形成外科  
日本医科大学 形成外科・美容外科 小川 令 …………… 24
3. 合成吸収糸:PDS II®と合成非吸収糸:ナイロン糸の癒痕比較  
神戸大学大学院医学研究科 形成外科学 牧口 貴哉 ……… 25
4. 小児熱傷後肥厚性癒痕の長期結果から見たメッシュ植皮の検討  
東京医科大学八王子医療センター 形成外科 菅又 章 …… 26
5. 貼付用局所麻酔剤によるステロイド局所注射の疼痛軽減効果に関する  
検討  
日本医科大学武蔵小杉病院 形成外科 奈良 慎平 …………… 27

【一般演題2】 9:10 ~ 9:50

座長：慶應義塾大学 形成外科 貴志 和生

1. 癒痕・ケロイド治療の法的問題3  
東京大学医工連携部 大阪医科大学 久 智行 …………… 28
2. ケロイド発赤部におけるヘルパーT細胞について  
慶應義塾大学 形成外科 服部 典子 …………… 29



3. ケロイド多発患者における末梢血の解析  
 ～Circulating fibrocyteの探究～  
 北海道大学大学院医学研究科 形成外科学分野 長尾 宗朝 … 30
4. ケロイドに対する治療を中断した理由についての検討  
 日本医科大学武蔵小杉病院 形成外科 土佐 眞美子 …… 31
5. 瘢痕, 肥厚性瘢痕, ケロイドの組織所見  
 東京医科大学病理診断学 泉 美貴 …………… 32

**【一般演題3】**

**9:50 ～ 10:38**

座 長：東京医科大学八王子医療センター 形成外科 菅又 章

1. ケロイド治療の現状とケロイド疫学調査の必要性についての検討  
 日本医科大学武蔵小杉病院 形成外科 土佐 眞美子 …… 33
2. ケロイドの疫学調査の必要性  
 日本医科大学 形成外科・美容外科 小川 令 …………… 34
3. ケロイドに対する手術および術後電子線照射療法への検討  
 日本医科大学 形成外科・美容外科 小川 令 …………… 35
4. 非典型的部位に生じた術後ケロイドの経験  
 聖マリア病院 形成外科 三川 信之 …………… 36
5. 耳垂部ピアスケロイド術後再発2例の検討  
 やまもと形成外科クリニック 山本 光宏 …………… 37
6. ケロイドにたいする塩化メチルロザニリンの局所注射療法  
 (第一報)  
 オーガスタクリニック 菊井 知子 …………… 38

- 【 外国人特別講演 2 】** **10:40 ~ 11:20**
- 「Using Cells in Plastic Surgery Operations」
- 座 長：東邦大学 形成外科 丸山 優
- 演 者：President, Cytori Therapeutics Marc H. Hedrick …… 13
- 
- 【 外国人特別講演 3 】** **11:20 ~ 12:00**
- 「 Scar Assessment 」
- 座 長：日本医科大学 形成外科・美容外科 百東 比古
- 演 者：University of Pisa, Department of Dermatology  
Marco Romanelli …… 14
- 
- 【 ランチョンセミナー 】** **12:00 ~ 13:00**
- 共 催：科研製薬株式会社
- 「徐放型 bFGF ハイドロゲルを用いた新しい創傷治療」
- 座 長：大阪医科大学 形成外科 上田 晃一
- 演 者：日本医科大学 形成外科 日本医科大学附属病院再生医療科  
水野 博司 …… 17
- 
- 【 パネルディスカッション 】** **13:00 ~ 14:00**
- 座 長：京都大学 形成外科 鈴木 茂彦
- 
1. ケロイド術後成績評価の点数化への試み  
京都大学医学部研究科 形成外科 山脇 聖子 …… 19
2. ケロイド・肥厚性瘢痕の点数化による評価・分類法の提唱(第2報)  
日本医科大学 形成外科・美容外科 小川 令 …… 20
3. 瘢痕・ケロイドの分類と評価ースコア化  
昭和大学医学部形成外科 土佐 泰祥 …… 21
- 
- 【 閉会の辞 】** **14:00 ~ 14:05**
- 来年度主幹：日本医科大学 形成外科教授 百東 比古